

# 知的財産活動のご紹介

2017年12月  
富士通株式会社

## ■産業の変化と富士通のビジネスの変遷

- デジタル社会の時代
- モノづくりの時代からコトづくり、共創の時代へ
- 富士通の目指すビジネスモデル
- 「つながるサービス」

## ■富士通の知的財産戦略と知的財産活動

- 富士通の知的財産戦略の方針
- 富士通の知的財産戦略の概要
- 富士通の知的財産活動事例

- 1 株式会社巴コーポレーション様
- 2 スポーツICT
- 3 ハッカソン支援
- 4 地域共生型知的財産活用
- 5 標準化活動
- 6 共創に向けた、国際的枠組みの活用

# 産業の変化と 富士通のビジネスの変遷

## デジタル社会

- デジタル技術が、あらゆる人、モノ、プロセスをつなぎ、情報を活用することを可能に
- 人工知能が、よりクリエイティブに働き、より良い意思決定をするための支援を提供
- あらゆるものの「つながり」とデータから生み出される「インテリジェンス」が、人に対する価値を提供

## 新たな社会への移行

- 初期の狩猟採集社会から生産性の向上と人口増加をもたらした労働集約型農耕社会へ
- 産業革命で出現した工業化社会を経て、人々の知識が経済推進の原動力となるポスト工業化社会へ



# モノづくりの時代からコトづくり、共創の時代へ

デジタル・  
ビジネスの  
共創



## オープン・イノベーション

デザイン思考実践の場  
Digital Transformation Center



ものづくりの場  
TechShop



シリコンバレーとの共創  
Open Innovation Gateway



ベンチャーとの共創の場  
MetaArcベンチャープログラム



弊社 FT&SV 2017 より



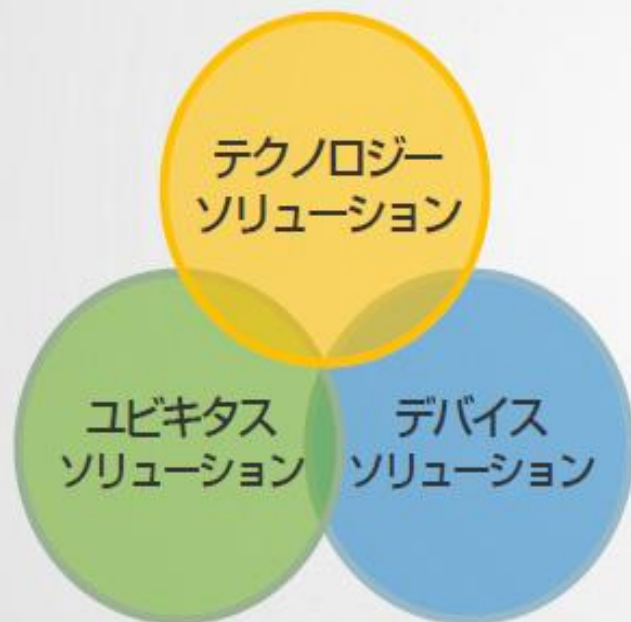
## Digital Co-creation

- 新たな未来を創り出すために、ビジネスのノウハウとデジタル技術を融合させ、パートナーや顧客と価値を共創



## テクノロジーソリューションへの経営資源集中

今までの姿



目指す姿



## 「つながるサービス」にむけたエコシステム



SDGs: Sustainable Development Goals

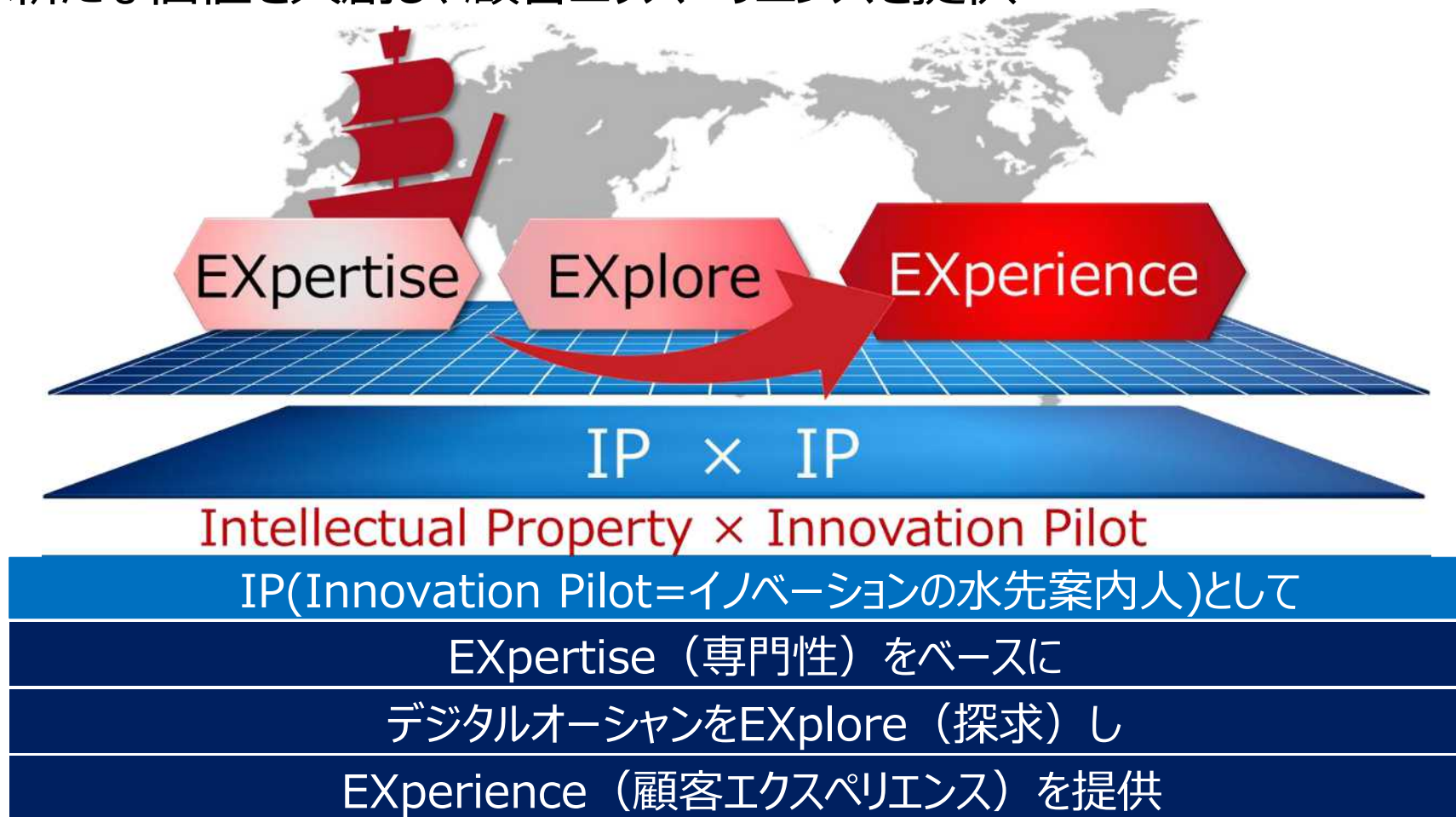


# 富士通の知的財産戦略と 知的財産活動

- Digital Co-creationを支える知的財産戦略『**EX<sup>3</sup>×IP<sup>2</sup>**』

# 富士通の知的財産戦略の方針『**EX<sup>3</sup>×IP<sup>2</sup>**』

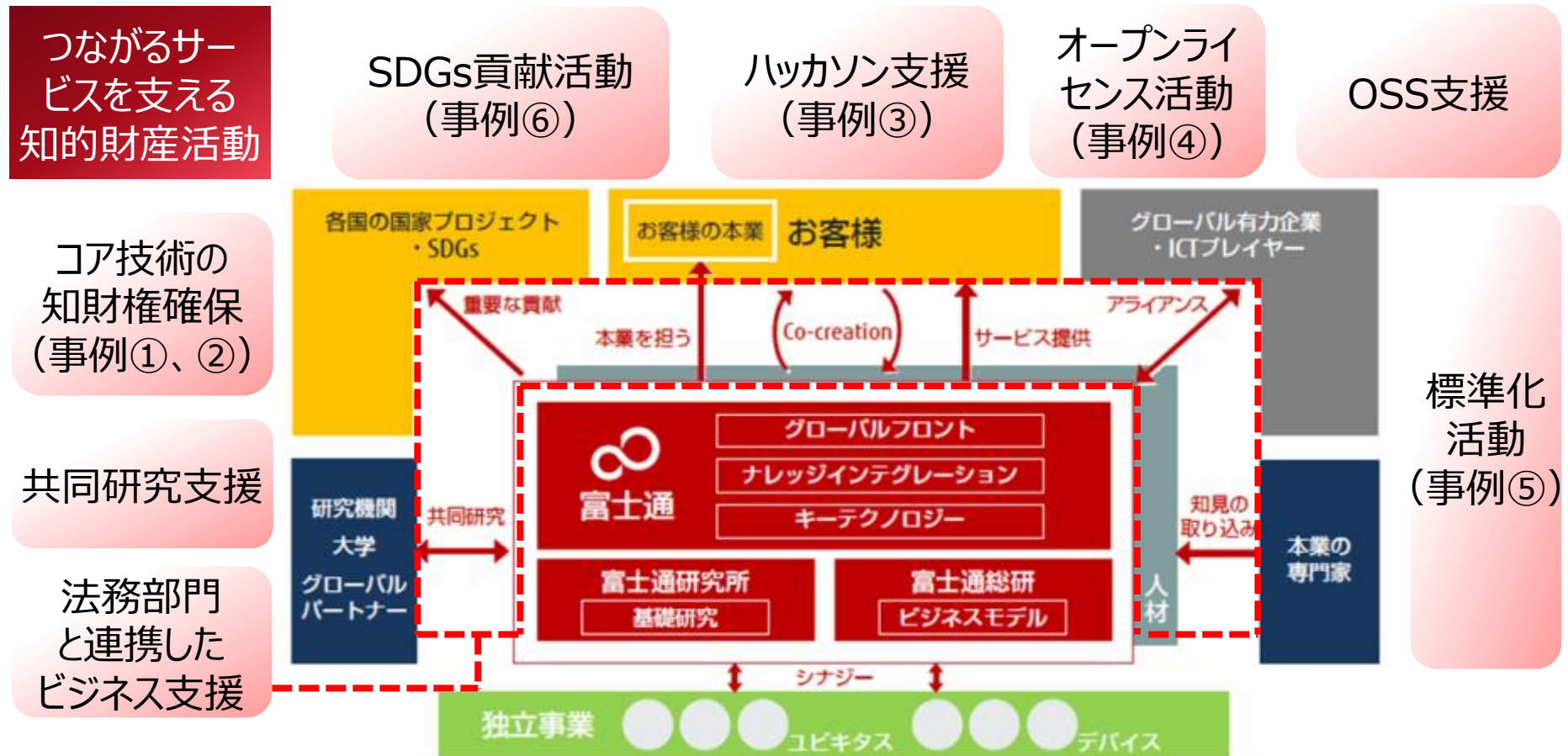
- イノベーションの水先案内人として、富士通の技術の強みを知的財産の専門性で活かし、デジタル時代の波を渡り、ビジネスをつなげることで、新たな価値を共創し、顧客エクスペリエンスを提供



“Innovation Pilot” とは:社内外の人や組織を相互につなぎ、ネットワークを構築し、技術のシーズと、ビジネスのニーズとをつなぐ、イノベーションの水先案内人

# 富士通の知的財産戦略の概要

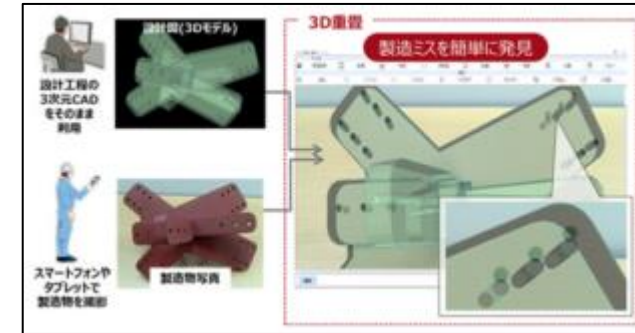
## ■ Digital Co-creationを推進する知的財産戦略『EX<sup>3</sup>×IP<sup>2</sup>』



# 事例①:株式会社巴コーポレーション様との事例

幅広い分野で建設事業を行う株式会社巴コーポレーション様とともに、大型構造物の各部材が設計図どおりに製造されていることを、製造現場での組立前に効率よく診断するためのシステム「Fujitsu Manufacturing Industry Solution 3D重畳」を開発

- 巴コーポレーション様との共創プロジェクトでは、お客様の課題を解決するために、当社特許技術であるAR技術を活用して、新たな価値を創出

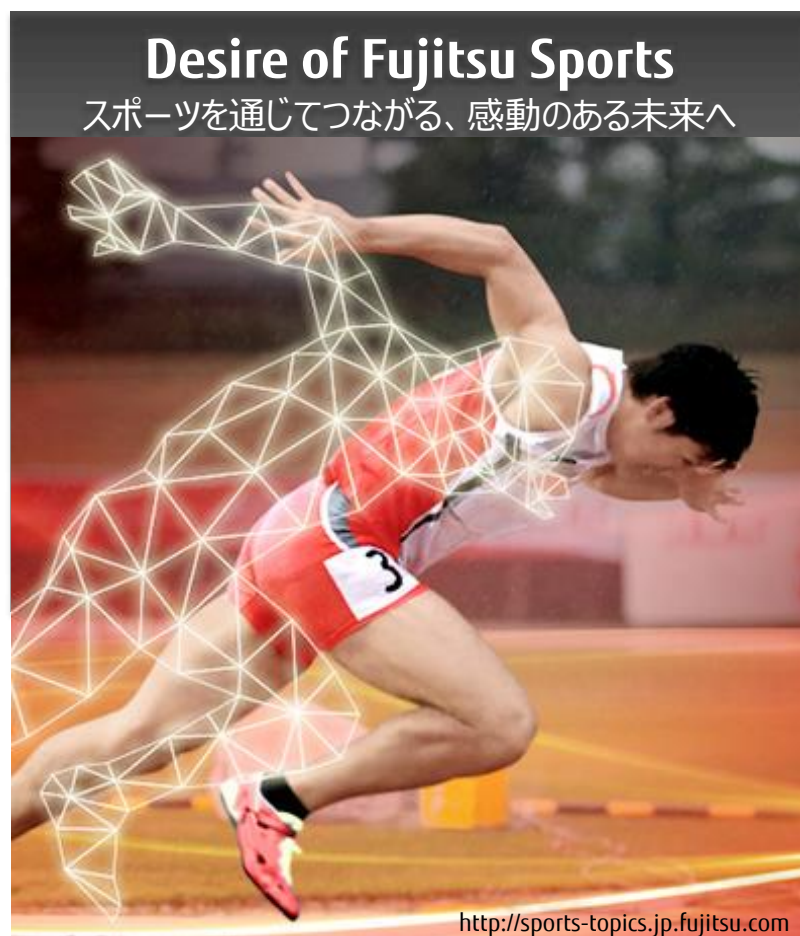


AR（拡張現実）技術を活用し製造部材の診断を効率化  
品質の向上と現場組立遅延リスクの排除を実現

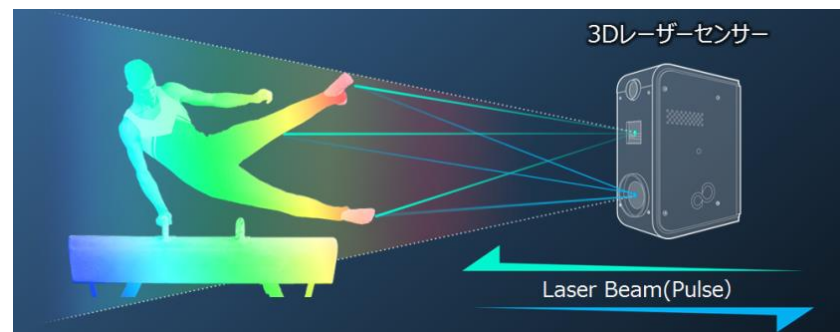


# 事例②:スポーツICTの事例

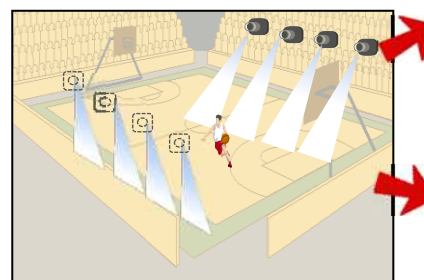
- 富士通研究所の3Dセンシング技術や画像処理技術をスポーツという新たな分野につなげ、スポーツICTを実現
- コア技術をお客様の持つニーズや知識と結び付け、共創から生み出されるソリューションによって、よりスポーツを理解/共感した感動を提供



## ■ 3Dセンシング



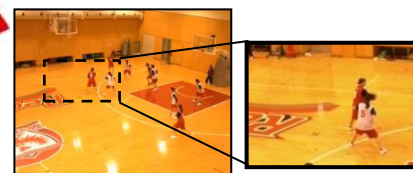
## ■ スマートアリーナソリューション



アリーナに設置したカメラで撮影  
撮影画像の認識・処理



シュート分布分析等、科学的な  
コーチングによる**選手強化**



好みの選手を追いつ駆けた映像で  
**選手の魅力を伝える**



# 事例③:ハッカソン支援で安心安全な参加と成果活用 **FUJITSU**

- 富士通主催のハッカソン(※)では、目的に応じて参加規約を準備  
誰もが安心して参加し、その技能やアイデアを競うことができる

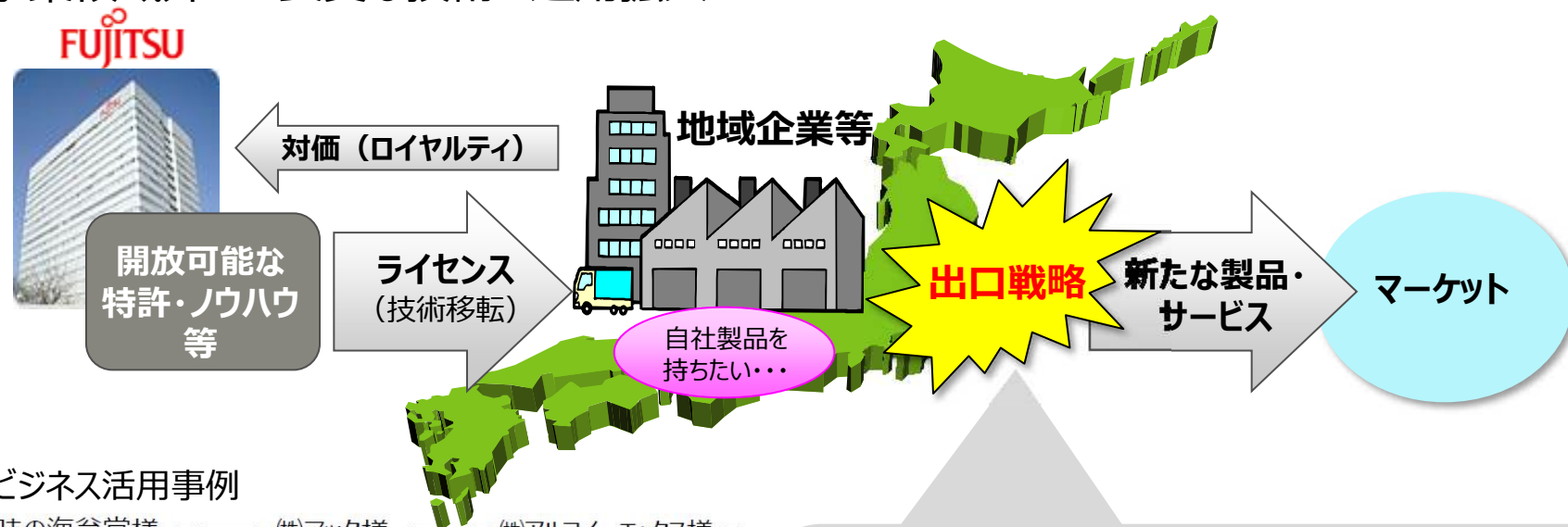
※ ハッカソンとは、ハック(Hack)とマラソン(Marathon)を掛け合わせた造語。チームを作り、与えられたテーマに対し、それぞれの技術やアイデアを持ち寄って短期間(1日～1週間程度)に集中してサービスやアプリケーションなどを開発し、成果を競う開発イベント。

- ハッカソンの成果物には、お客様をワクワクさせるエッセンスが満載  
この短期間で具現化した知的財産を、鮮度が落ちないうちに権利化することで、お客様にユニークで安全な成果物の提供を目指す



# 事例④:地域共生型知的財産活用(オープンライセンス) **FUJITSU**

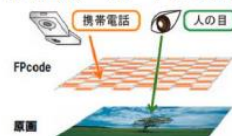
- 地域との共生を目的とした知的財産（主に開放特許）の活用
- 地方自治体や金融機関と連携したお客様ビジネスの出口戦略（物づくり、コトづくりの推進）
- 事業領域外への良質な技術の適用拡大



## ビジネス活用事例

### (株)味の海翁堂様

印刷画像へのコード埋込技術



プリント南部せんべい

### (株)マック様

光触媒チタンアパタイト技術



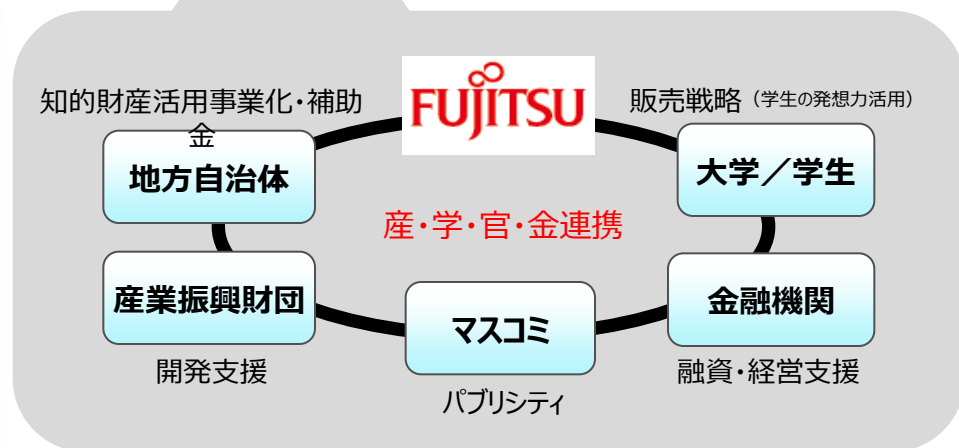
光で抗菌できる包丁

### (株)アルコイーエクス様

離床・起床センシング技術



契約調印式 (於:筑波銀行様)



# 事例⑤：標準化活動

## ■ 「つながるサービス」を支えるキーテクノロジーにおける標準化活動

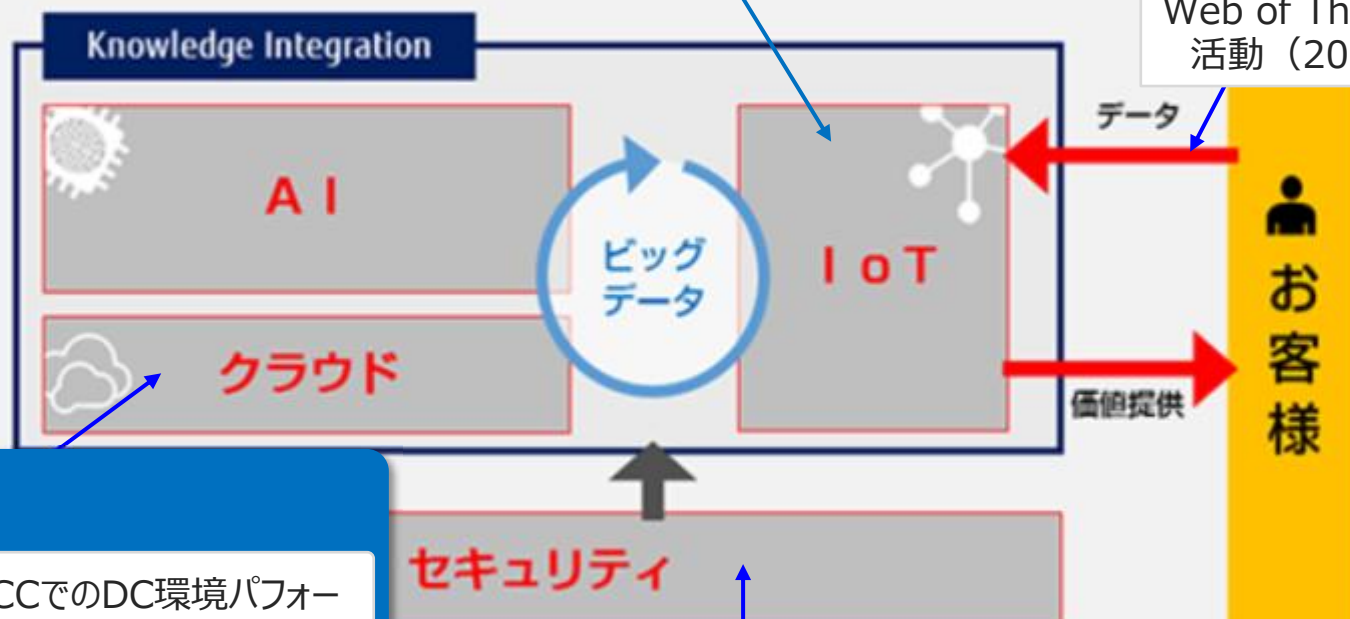
### IoT

エコシステム構築によるIoTビジネス活性化のためのIoT業界団体（IIC）での活動（2014年～）

3GPP LTE/LTE-Advanced/Advanced Proにおける戦略的特許出願及び標準必須特許獲得（2010年～）

5G規格開発のための標準化活動（2016年～）

Web of Things標準化活動（2015年～）



### クラウド

JEITA, JDCCでのDC環境パフォーマンス向上を実現するガイドラインの策定牽引（2015～2017年）

当社要件のOpenStack活動（2013年～）

### セキュリティ

つながるクルマに必要なセキュリティ基盤実現に向けた活動（2003年～）

バイオメトリクス（生体認証）標準化活動（2002年～）

# 事例⑥: 共創に向けた、国際的枠組みの活用

## ■ WIPO GREENとのパートナーシップ締結（2017年9月）

当社技術の普及



パートナーシップ

グローバル企業との  
コラボレーション

SDGs達成を目的に、グローバル企業との共創を促進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD

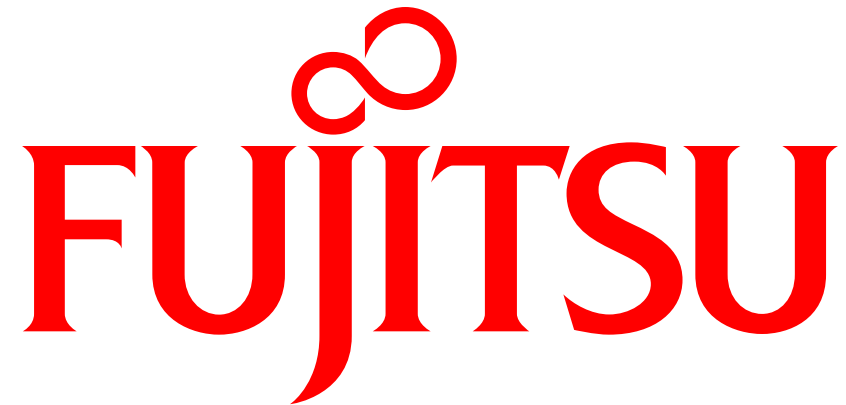


GaN HEMT ACアダプタ等200件



WIPO  
GREEN  
DB

WIPO GREENでは、  
全世界から提供される技術とニーズとを登録するDB提供や、  
各国政府機関後援によるマッチングイベントを開催。



shaping tomorrow with you